

●メルマガでの連載がスタート「エネルギーから経済を考える経営者ネットワーク会議」

<https://enekei.jp/> 農業・食・エネルギーの現場から①～総合マネジメントによる地域づくり～

●2024年5月号6月号で連続特集。

【新連載】岡崎啓子氏に聞く アグリツーリズムと再生エネルギー～イタリアからの現地レポート①～



●2024年3月、4月号は、NPO法人上田市民エネルギー特集。長野県上田市から広がった市民・地域事業者・市・県連携の未来を見据えた脱炭素の取り組み

「脱炭素先行地域」長野県上田市

上田市は環境省の「脱炭素先行地域」に選定されている。テーマは『ローカル鉄道と市民がともに支え合う「ゼロカーボン×交通まちづくり」だ。



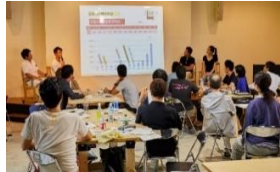
👉パート1



👉パート2

●<https://www.kanamaru-jp.com/yotei/yoteidetail.php?&no=1219&a=2023>

●2023年7月号「練馬区の都市農業と若者の新規就農と起業支援」 8月号「道の駅 ましこ」



9月号「福岡県久留米市のZEB」 10月号千葉県「グリーンアース」

11月号「東急リゾートタウン蓼科」



都市農業を牽引する東京都練馬区の農業体験農園 (その1 その2 その3)



●住生活産業総合情報誌「ハウジングトリビューン」「田舎再生の現場から」連載 58・59  
2024年11・13号連続特集 6月14日、7月12日発売 <https://htonline.sohjusha.co.jp/>  
脱炭素 CO2 削減で推進されているのが建築物の ZEB (Net Zero Energy Building = ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)。東京都内の公共建築物で初めて「Nearly ZEB (ニアリーゼブ)」認証を取得・品川区立環境学習交流施設「エコルとごし」。年間のエネルギー使用をほぼゼロ近くにした。場所は区立戸越公園内。



👉バックナンバー

<https://htonline.sohjusha.co.jp/rensai/kanemaru-report/>

●「月刊 NOSAI」(全国農業共済協会)6・7月号「食の農で高める地域の力」連載35・36号  
和歌山県田辺市・(株)濱田 (パート1)市の北西部の芳養川にある梅干・梅酒の製造販売の「株式会社 濱田」梅栽培から加工販売まで行う、県内でも優れた農業の形を創出している。  
3つの法人がある。梅干しやお酒などの加工品を造り卸業を行う「株式会社 濱田」。  
個人向け通販の「株式会社 石神邑」。減農薬・有機栽培の農業法人「株式会社 濱田農園」。  
代表は濱田洋さん。3代目で会社運営を担うのは専務取締役濱田朝康さん。



👉全国農業共済協会 HP



👉これまでの掲載記事一覧

●新刊が出ました。共著作です。(図書館にリクエストしていただくと嬉しいです)

「地域再生最前線 -食・農・団地再生・教育から進める地域の創り直し-

<https://www.kanamaru-jp.com/book/bookdetail.php?no=213&a=1>

執筆者:一般社団法人 社会基盤技術評価支援機構・中部編 発行:理工図書

定価=2300円 版型=A5 頁数=176頁



★●Women's Action Network(上野千鶴子理事長)農業と食の現場で活躍する女性を紹介。

「金丸弘美のニッポンはおいしい！」

「自然の中でご飯を食べ、学ぶ。本物の食を子どもたちに届けたい」 葛飾区西亀有「こども園すなはら」連載28



有機栽培のお米、旬の農産物を使い、ご飯・みそ汁が中心。子どもたちに四季の味わいを伝える給食を実施しています。

「新鮮なミルクから生まれるフレッシュ・チーズを届けたい」連載 27

★群馬県川場村「田圃ブラザ川場」KAWABA CHEESE。・片岡恵子さん「



(ピザはイーター「ブッラータ」、左から岡崎啓子さん、ジョリートさん、片岡恵子さん。イタリア・ブラにて) これまでのバックナンバー。素敵な女性たちが登場します！

<https://www.kanamaru-jp.com/yotei/yoteidetail.php?&no=768&a=2017>



●スペシャル連載「私が食ジャーナリストになった理由(わけ)」(全4回)

<http://www.writers-net.com/item/261>

上野千鶴子さん(社会学者・東大名誉教授)の勧めで書くこととなりました。

掲載はWAN(NPO法人ウーマンズアクションネットワーク=上野千鶴子理事長)



●食の雑誌「味の味」(アイディア)エッセイ「地食がおもしろい」を隔月で連載中です。

おかげさまで連載は103回を迎えました。2024年6月号。<http://www.ajinoaji.com/>

「有機小麦栽培と天然酵母から生まれる「三富今昔村」のパンたち」



👉(HP 掲載のお店に置いてあります)

●大阪公立大学都市経営研究科 公開シンポジウム(前編)(後編) YouTube配信

「自然な農と食を活かした地域活性化」 <https://youtu.be/VTW-NfgQBQg>



(前編) 東京都練馬区から広がる都市農業、長崎県大村市の新規就農と新たな農村観光  
(後編) 富山県立山町の坂口創作さんの新規就農、福井県若狭町の就農起業支援事業他。

●「食育で育む未来の町づくり」YouTube配信 <https://www.youtube.com/watch?v=-ztpU9TX8J8>

(制作：京都府宇治市&「うーちゃんねる」) 写真は高知県中土佐町と豊岡市のコウノトリの稲作



●合同出版 WEB サイト連載 活力ある地域の実践事例を紹介

【金丸弘美 特別寄稿】もっと先の未来への歩み 最新号をお届けします。

第10弾◎「自然な農と食を活かした地域活性化」(大阪公立大学授業レポートより)

<https://www.godo-shuppan.co.jp/news/n53283.html>

- ・食と地域と連携させた新たな農業振興政策 ・様々な政府補助政策
- ・都市型新規就農事例、地方型新規就農事例、受け皿を創る農業法人  
「繁昌農園」「PAKUCI SISTERS」「牛かうばっか」「白雪農園」  
「日本農業法人協会」「かみなか農楽舎」「NPO 九州エコファーマーズセンター」
- ・何も無いと思われた離島に人を呼ぶ試み(瀬戸内ジャムズガーデン)
- ・食、宿泊、農家と観光の連携(イタリア・アグリーツーリズム)
- ・自治体の人材育成事業(「ここプラ」高知県産学官民連携センター)
- ・食と宿泊の融合、農家民泊(株式会社 Table a Cloth(テーブル・ア・クロス))
- ・人材育成と人材投資事業(「たなべ未来創造塾」)
- ・道の駅との連携により地域マネジメントを行う(「道の駅ましこ」)



●「月刊学校給食」(全国学校給食協会)2024年7月号 特集を組んでいただきました！



「食のシンフォニー 農家連携で子どもたちに五感を通して学ぶ場を創る」金丸弘美

●「地方創生」を支援する国の人材派遣事業。

国の人材派遣事業:金丸弘美は登録されており、国の制度で現地にかがうことができます。

●総務省の人材派遣事業 総務省地域力創造アドバイザー 地方創生のサポート。

<https://www.soumu.go.jp/ganbaru/jinzai/>

●内閣官房の伝道師派遣制度 内閣官房地域活性化伝道師 地方創生のサポート。

<https://www.chisou.go.jp/tiiki/dendoushi/index.html>



👉総務省



👉内閣府



👉金丸弘美ホームページ

●金丸弘美 ホームページ <https://www.kanamaru-jp.com/home/index.php>

●YouTube配信

名豊塾 特別講演会「地域を元気に 里山の暮らしから観光・経済につなぐ新たな連携」

<https://www.youtube.com/watch?v=-PNJgv5pfU0&t=128s>



講師:金丸弘美 食環境ジャーナリスト・食総合プロデューサー

制作・著作:び〜ぶる放送 (佐賀県唐津市鎮西町「名豊塾」講義より)

「佐賀県唐津市のケーブルテレビ局『株式会社び〜ぶる』が運営するコミュニティ・チャンネル」

●食のテキスト化とブランド事業

茨城県常陸太田市「常陸秋そば」(2:50)/岐阜県高山市「宿儺かぼちゃ」(9:40)

高知県の人材育成事業と中土佐町「米」の大学連携(16:45)

唐津・玄海食プロジェクトと地域広域連携(22:45)/唐津市での公開学校給食(22:45)

●地産地消の仕事人・合宿事業 長崎県大村市「おおむら夢ファームシュシュ」(36:30)

●地域全体をマネジメントする 栃木県益子町「道の駅 ましこ」(55:50)

●移住・定住・移住支援 東京・有楽町「ふるさと回帰支援センター」(1:04)

●若者への起業支援

和歌山県田辺市「たなべ未来創造塾」(1:04)/熊本大学と地域広域連携の事業支援

高知県産官学金融連携人材育成事業(1:24)/文化施設無料入場券付き「高知県観光特使名刺」

●農家・漁村の古民家をリノベーションし観光につなぐ(1:27)

兵庫県西宮市「Table a Cloth gochi 荘」/イタリア「アグリツーリズム(農村観光)」

●再生可能エネルギーと脱炭素・ZEB・木質バイオマスなど(1:31)

神奈川県開成町/福岡県久留米市/千葉県千葉市/長野県蓼科市

## 好評の地域創りの本

『田舎力～ヒト・夢・カネが集まる5つの法則』金丸弘美著（NHK出版生活人新書）

上野千鶴子さん、小山薫堂さん推薦。15刷り。有川ひろさん『県庁おもてなし課』、「毎日新聞」

「朝日新聞」他65媒体で紹介。<https://www.kanamaru-jp.com/book/bookdetail.php?no=158&a=1>

『実践！ 田舎力 小さくても経済が回る5つの方法』(NHK 新書)

「週刊東洋経済」「月刊ガバナンス」「旅の手帖」「週刊ダイヤモンド」など16媒体で紹介。

<https://www.kanamaru-jp.com/book/bookdetail.php?no=191&a=1>

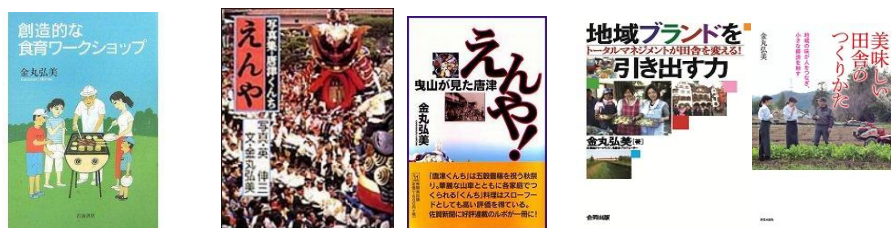
「ゆらしい島のスローライフ」 金丸弘美著(学研)電子書籍版でも絶賛発売中。

絵:唐仁原教久、写真:阿部雄介 小泉武夫氏推薦(作家・発酵学者)

<https://www.kanamaru-jp.com/book/bookdetail.php?no=1118&a=1>



●金丸弘美の著作。地域活動の実践例を紹介。



『創造的な食育ワークショップ』(岩波書店)

『えんや 写真集・唐津くんち』写真:英伸三(家の光協会=JA 出版部)

『えんや! 曳山が見た唐津』(無明舎出版) 『地域ブランドを引き出す力』(合同出版)

『美味しい田舎のつくりかた:地域の味が、人とつなぎ、地域を耕す』(学芸出版)



『地域の食をブランドにする! 食のテキストをつくらう』(岩波ブックレット)

『タカラは足元にあり!』(合同出版) 『給食で育つ賢い子ども』(木楽舎)

『里山産業論』(角川書店) 『幸せな田舎のつくりかた』(学芸出版)

『田舎の力が 未来をつくる!ヒト・カネ・コトが持続するローカルからの変革』(合同出版)



👉金丸弘美書籍一覧 <https://www.kanamaru-jp.com/book/index.php>